

# 取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



## 共同受信用ブースター

前置ブースター用給電スイッチ付  
電源内蔵形 屋内用

— CS/BS-IF・UHF・V-Low・FMブースター —

**2K4K8K** **高シールド** **HS**  
JETTA  
V-Low-FM 76~108MHz, UHF 470~710MHz,  
CS/BS-IF 950~3224MHz増幅用

**CUF35MS2** **UHF35dB形**

新4K8K衛星放送に対応  
すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。

— CS/BS-IF・UHFブースター —

**2K4K8K** **高シールド** **HS**  
JETTA  
UHF 470~710MHz,  
CS/BS-IF 950~3224MHz増幅用

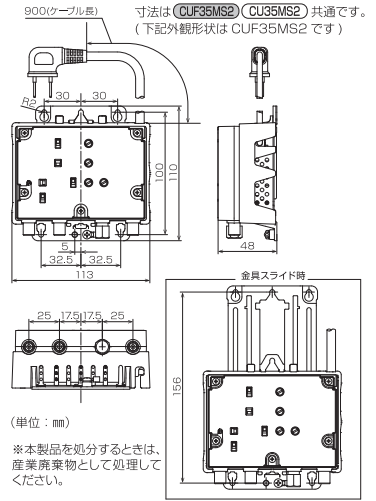
**CU35MS2** **UHF35dB形**

新4K8K衛星放送に対応  
すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。

### 使用上のご注意

- スイッチを切り換える場合、切換操作を数回行い、スイッチ接点部の活性化(クリーニング)をしてください。長期操作をしないと接点部に酸化膜が発生し、接触不良の原因になります。
- 出力モニターは、出力端子レベルから20dB低いレベルを出力しますが、出力端子にケーブルが接続されていしないと正確なレベルを出力しません。より正確なレベル測定を行う場合、出力端子を使用してください。
- 本製品を落としたり、ぶつけないように注意してください。
- 天井や熱のこもる場所への取り付けはしないでください。必ず出力端子が下向きになるように本製品を取り付けてください。他の方向に取り付けると放熱効果が失われ、性能が維持できなくなる場合があります。
- 正常な動作を確認するために、定期的な点検を実施してください。

### 外形寸法図



(単位: mm)

※本製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

製品に関するお問い合わせ先

**Dサポ!** スマートフォンで登録されたQRコードから

ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。  
QRコードからアクセスしてください。

### 保証書

■保証期間  
製品の製造または購入日が確認できる購入証明書(レシート、納品書など)に記載されている購入日より1年間、本製品を本規定に従い、無償修理することを保証いたします。※修理は送料を除く

■無償修理  
保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意事項に従った正常な使用状態で故障した場合には、お問い合わせの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付していただくか、弊社修理センターへお送りいただく場合の送料はお客様の負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包による初歩防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易郵便など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の破損の取扱、紛失については一切の責任を負いません。

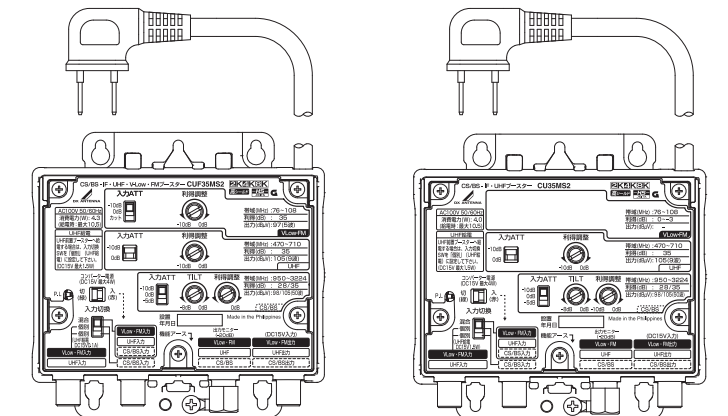
■適用の除外  
次のような場合には保証期間中でも有償修理となります。  
①ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。  
②お買い上げ後の取り付け場所の移動、転送、落下などによる故障および損傷。  
③火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、雷害、その他の天災地変、戦争、暴動による被害行為、公憤、暴動、ガス漏れなどは、必ずしも保証、無償などの動作の保証には含まれません。  
④盗難の被害などによる被害行為、使用に伴う腐食などにより生じる外観上の損傷。  
⑤用途以外(例えば車庫、船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。  
⑥製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(レシート、納品書など)を提示、添付されていない場合。  
⑦保証書にお買い上げ年月日、お買い上げの販売店の記入がない場合、または1文字句を書き入れられた場合。

■保証期間  
1年間

■免責  
本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の義務履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。  
本製品の故障に関する運送料、修理料、部品費および精神的損害、逸失利益につきましては、弊社は一切の責任を負いません。

■その他  
保証書の再発行は行いません。  
修理で交換された故障製品および故障部品の所有権は、弊社へ帰属とさせていただきます。  
製品修理にかかる付帯費用(運賃、設置工事費、人件費)については、弊社は一切の費用は負担いたしません。  
有償、無償にかかわらず修理により交換された部品または部品等は返送いたしません。  
同梱での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と、交換させていただきます。

■有効範囲  
本保証規定に基づく保証は日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan.)



**付属品**

ホネジ(3.1×16mm) ..... 3本  
F-5接続(リング付) ..... 3個

### 安全上のご注意

お使いになる方や他人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



### 警告

- 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの
- 異常があるときは、すぐに使用を中止するなどの異常状態のまま使用しない
- 火災や感電の原因となります。すぐに電源コードをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店・カスタマーセンターにご相談ください。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない  
火災や感電の原因となります。
- 電源プラグは、コンセントの根元までしっかりと差し込む  
ゴミやほこりが付着しているときは拭き取ってください。  
火災の原因となります。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを触らない  
感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、製品には触れない  
感電の原因となります。
- 同軸ケーブルを傷つけない  
本製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがあります。接続や接続の加工などで線と編組を接触させた後、同軸ケーブルを傷つけないようにしてください。火災や感電の原因となります。
- 電源コードや同軸ケーブルを接続した状態で移動しない  
接続した状態で移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
- ケースが破損した場合は、電源コードや同軸ケーブルを抜く  
本製品から電源コードや同軸ケーブルを抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 製品にケーブルクロスやカーテンなどの燃えやすいものを掛けたり、じゅうたんや布巾のうすに置かない  
熱がこもり、火災の原因となります。
- 製品を分解・改造しない  
感電やけがの原因となります。また、製品の性能が維持できなくなる、故障の原因となります。
- 製品内部に水などが入った場合や、落としたり破損した場合は、すぐに接続している電源コードを抜く  
万一、落としたり、内部に水などが入った場合は、まず本製品に接続している電源コードをコンセントから抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 本製品は屋内専用です  
以下の環境に設置しない  
火災や感電などの事故の原因となります。  
・風通しの悪い場所  
・塵や、風呂場、洗い場など水がかかる場所  
・エアコンの吹き出し口の水滴が落ちる場所  
・湯気やほこりの多い場所  
・直射日光の当たる場所  
・放熱機能のないボックス内  
・調理台や加湿器のそばなど高温になる場所  
・油煙や湯気があがる場所
- 以下の場所に設置しない  
落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。  
・強度の弱い場所  
・こらったり振動したりする場所  
・傾いた場所
- 電源コードを傷つけない、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない  
また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけない)しない  
火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)はお買い上げの販売店・工事ににご相談ください。
- 通風孔をふさいだり、製品内部に異物などを差し込まない  
通風孔をふさいだり、製品の内部に金属類や燃えやすいものなどを差込んだりしないでください。  
火災や感電の原因となります。
- 取り付けネジや接続の締め付け(トルク)に指定がある場合は、その力(トルク)で締め付け、固定する  
落ちたり、破損したりして、けがや故障の原因となります。
- 接地する  
引っ張り強さ0.39N以上の金属線、または径1.6mmの軟銅線で接地してください。接地しないとき雷害やシールドの効果が下がり、感電や故障の原因となります。

### 注意

テレビ受信工事は技術経験が必要で  
アンテナ関連の設置や配線、接続、調整、移設、撤去については、販売店・工事ににご相談ください。

AMラジオから1.5m以上離して使用する  
AMラジオの近くで使用するラジオ音声にノイズが入る場合があります。

### 規格特性

品名 / 型番	CS/BS-IF・UHF・V-Low・FMブースター / CUF35MS2		
	V-Low・FM	UHF	CS/BS-IF
使用帯域	76~108	470~710	950~3224
周波数帯域 (MHz)	76~108	470~710	950~3224
入力レベル範囲 (dBμV)	44~62(72) (注1)	44~70(80) (注1)	47~70(80) (注1)
標準利得 (dB)	35	35	28/32/35(950/2150/3224MHz)
定格出力レベル (注3)(dBmV)	97(FM5波+V-Low)	105(9波)	98/102/105(950/2150/3224MHz)
入力 A T T (dB)	0, -10(カットスイッチ切換式)	0, -10(スイッチ切換式)	0, -5/-10(スイッチ切換式)
利得調整範囲 (dB)	0~+10以上(連続可変)	0~+10以上(連続可変)	0~+10以上(連続可変)
T I L T (dB)	—	—	0~+8以上(連続可変)(注2)
帯域内周波数特性 (注3) (dB)	±2.0以内	±3.0以内	任意の34.5MHzで±1.0以内および、 フィル直線に同じ全帯域±3.0以内
雑音指数 (注3) (dB)	5以下	4以下	7以下
入出力インピーダンス (Ω)	—	75(F形)	—
V S W R (注3)	—	2.5以下	—
相互変調 (1M 3) (dB)	-72以下	-68以下	-
C I N (注3) (dB)	—	—	-22以下
利得安定度 (注3) (dB)	—	±2.5以内	±3.0以内
出力モニター (dB)	—	-20	—
耐衝撃	入力端子・電源端子 JEC: ±25kV(1.2/50μs), IEC: ±15kV, ±1.5kA(1.2/50/8/20μs) コンパネーション	—	—
直流供給電源	—	DC15V / 1.5W	DC15V / 4W
電源 / 消費電力	AC100V(50/60Hz) / 4.3W, UHF給電時6.0W, CS/BS給電時8.8W, UHF+CS/BS給電時10.5W	—	—
電源 / 消費電力	DC15V / Q, 1.6A, UHF給電時0.26A, CS/BS給電時0.45A, UHF+CS/BS給電時0.55A	—	—
使用温度範囲 (°C)	—	-10~+40	—
漏洩電界範囲 (dBμV/m)	34以下	—	40.2以下
外形寸法 (mm)	—	110(H) × 113(W) × 48(D)	—
質量 (kg)	—	0.8	—

品名 / 型番	CS/BS-IF・UHFブースター / CU35MS2		
	V-Low・FM	UHF	CS/BS-IF
使用帯域	76~108	470~710	950~3224
周波数帯域 (MHz)	76~108	470~710	950~3224
入力レベル範囲 (dBμV)	—	44~70(80) (注1)	47~70(80) (注1)
標準利得 (dB)	0~+3	35	28/32/35(950/2150/3224MHz)
定格出力レベル (注3)(dBmV)	—	105(9波)	98/102/105(950/2150/3224MHz)
入力 A T T (dB)	—	0, -10(スイッチ切換式)	0, -5/-10(スイッチ切換式)
利得調整範囲 (dB)	—	0~+10以上(連続可変)	0~+10以上(連続可変)
T I L T (dB)	—	—	0~+8以上(連続可変)(注2)
帯域内周波数特性 (注3) (dB)	—	±3.0以内	任意の34.5MHzで±1.0以内および、 フィル直線に同じ全帯域±3.0以内
雑音指数 (注3) (dB)	—	4以下	7以下
入出力インピーダンス (Ω)	—	75(F形)	—
V S W R (注3)	—	2.5以下	—
相互変調 (1M 3) (dB)	—	-68以下	-
C I N (注3) (dB)	—	—	-22以下
利得安定度 (注3) (dB)	—	±2.5以内	±3.0以内
出力モニター (dB)	—	-20	—
耐衝撃	入力端子・電源端子 JEC: ±25kV(1.2/50μs), IEC: ±15kV, ±1.5kA(1.2/50/8/20μs) コンパネーション	—	—
直流供給電源	—	DC15V / 1.5W	DC15V / 4W
電源 / 消費電力	AC100V(50/60Hz) / 4.0W, UHF給電時5.7W, CS/BS給電時8.5W, UHF+CS/BS給電時10.5W	—	—
電源 / 消費電力	DC15V / Q, 1.4A, UHF給電時0.24A, CS/BS給電時0.40A, UHF+CS/BS給電時0.50A	—	—
使用温度範囲 (°C)	—	-10~+40	—
漏洩電界範囲 (dBμV/m)	—	—	40.2以下
外形寸法 (mm)	—	110(H) × 113(W) × 48(D)	—
質量 (kg)	—	0.8	—

(注1)入力AT Tスイッチを-10dBに切替えたときの最大入力レベル (注2)3224MHz帯域 (注3)利得最大時



**各部の名称** ※下図スイッチ位置は出荷時の設定です。出荷時のボリューム位置は最小側です。(イラスト:CUF35MS2)

※各スイッチおよびボリュームは調整用ドライバー（小形）などで軽く操作してください。  
 ※各スイッチは「カチッ」となるまで動かしてください。  
 ※BS・110度CS 4K・8K放送(3224MHz)のレベル確認の際は4K・8K放送に対応したケーブル・コネクタを使用してください。

**V-Low-FM**

**入力ATTスイッチ**  
 0〜10dB(スイッチ切替式)、またはカットを選択できます。使用しない場合、カットすることで消費電力の低減が可能です。(※③参照)

**UHF**

**入力ATTスイッチ**  
 0〜10dB(スイッチ切替式)を選択できます。(※③参照)

**コンバーター電源スイッチ**

「入」にするとCS/BS入力からDC15Vが供給され、パイロトランプが赤点灯します。

**パイロトランプ (P.L.)**

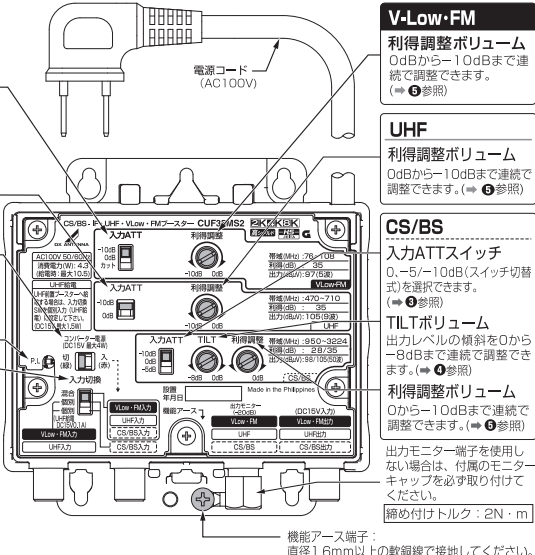
CS/BS信号とUHF・V-Low-FM信号が「個別」もしくは「混合」で選択します。UHF前置プースターにDC15Vの給電をするときは、個別入力(給電側)にしてください。

**入力切替スイッチ：個別の場合**

V-Low・FM入力端子  
 UHF入力端子  
 前置プースター用電源出力端子としてDC15Vを重畳して給電できます。

**入力切替スイッチ：混合の場合**

この端子は使用しません。



**V-Low-FM**

**利得調整ボリューム**  
 0dBから-10dBまで連続で調整できます。(※③参照)

**UHF**

**利得調整ボリューム**  
 0dBから-10dBまで連続で調整できます。(※③参照)

**CS/BS**

**入力ATTスイッチ**  
 0〜5(−10dB(スイッチ切替式)を選択できます。(※③参照)

**TILTボリューム**

出力レベルの傾斜を0から-6dBまで連続で調整できます。(※③参照)

**利得調整ボリューム**  
 0から-10dBまで連続で調整できます。(※③参照)

出力モニター端子を使用しない場合は、付属のモニターキャップを必ず取り付けてください。  
 締め付けトルク：2N・m

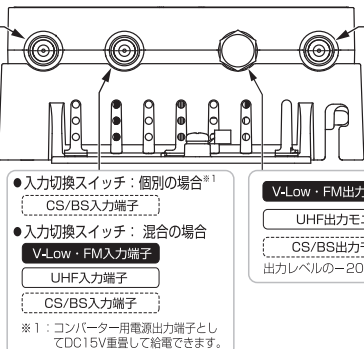
機能アース端子：直径1.6mm以上の軟銅線で接地してください。

**V-Low・FM出力端子**

UHF出力端子  
 CS/BS出力端子  
 DC15Vを重畳して本製品を動作させる電源を供給できます。

**V-Low・FM出力モニター端子**

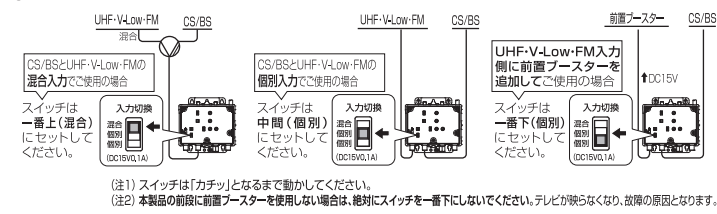
UHF出力モニター端子  
 CS/BS出力モニター端子  
 出力レベルの-20dBが出力されます。



※1：コンバーター用電源出力端子としてDC15V重畳して給電できます。

**1 入力切替スイッチの操作**

V-Low-FMはCUF35MS2のみ



**2 コンバーター電源の操作**

**CS/BSアンテナへの給電(コンバーター電源)**

- CS/BSコンバーター用電源(DC15V最大4W)を供給する場合は、コンバーター電源スイッチを「入」にしてください。パイロトランプ(P.L.)が赤色に点灯します。
- 入力端子側でショートしている場合、ランプが消えます。コンバーター電源スイッチを「切」にして入力端子側のショート箇所を取り除いてください。この製品が動作しなくなり故障の原因となります。
- CS/BSコンバーターを動作させるための重畳電源を供給できる端子はCS/BS入力端子のみです。
- 重畳ラインの機器は通電形を使用し、通電端子に接続してください。
- 重畳電源でコンバーター動作させる場合以外に接続すると故障の原因となりますのでご注意ください。
- 電源の供給はケーブルの接続を確認した後に行ってください。

**3 入力ATTスイッチの操作**

入力ATTスイッチを操作することにより、入力レベルをフラットに下げることができ、それでもお、入力オーバーの際は、別売のアンテナター(減衰器)を入力端子に接続してください。

**※V-Low-FMのカットスイッチの操作**

V-Low-FMを使用しない場合は、スイッチをカットにしてください。消費電力を低減することができます。

**V-Low-FM**



**4 TILTボリュームの操作**

**CS/BSの調整**

- CS/BSのTILTボリュームを反時計方向いっぱいに戻し、3224MHz付近を基準にして950MHzの利得が8dB減衰します。

**5 利得調整ボリュームの操作**

**CS/BS、UHF、V-Low-FMの調整 (CUF35MS2)**  
**CS/BS、UHFの調整 (CU35MS2)**

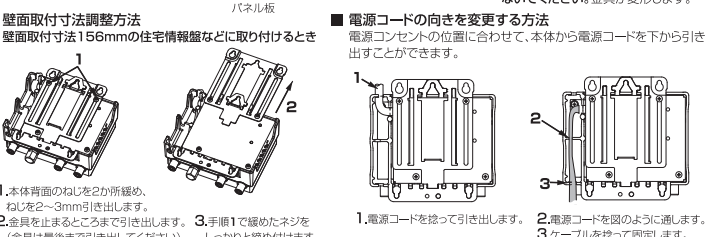
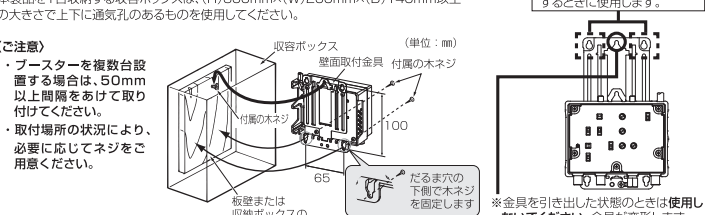
後段に接続される機器が過入力にならないよう、利得調整ボリュームを調整してください。利得調整ボリュームは「反時計回り」いっぱいに戻した時、利得が最小になります。  
 (ご注意) ボリュームは調整用小形ドライバーで軽く操作してください。強く回すとボリュームが破損する場合があります。

**お取扱いの前に**

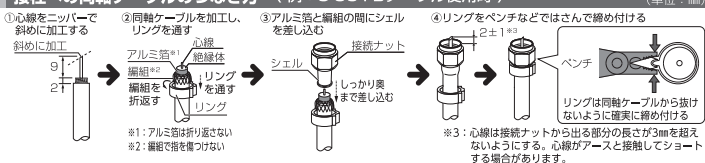
- 本製品は屋内専用です。屋外に設置する場合は、必ず防水・防雨ならびに放熱処理を施した取付ボックスなどに取付してください。
- 取り付けに用いる以外のネジを回したり、製品本体のカバーを開けて回路部品に手を触れたりしないでください。前記に伴う故障については、製品保証の対象外となります。
- 電源を供給する前に機能アースを必ず接地してください。なお、機能アースは安全アースではありません。
- 本製品に接続する同軸ケーブルが7Cタイプの場合には、必ずコンタクトピン接合(別売品)をご使用ください。
- 心線の直径が1.1mmを超えるケーブルを直接接続すると、変形や接触不良の原因となります。
- 接続に使用する同軸ケーブルへの接合の取り付けは、その同軸ケーブル専用の接合を説明書に従って加工してください。特殊な加工をしたものを使用すると特性の悪化や機器の破損につながります。
- 出力端子へのF形接合の接続は、接続ナットを2N・mで締め付けてください(締め付けの過不足は故障や障害の原因となります)。
- 4K・8K放送(新4K・8K衛星放送)を見るためには、3224MHzまで対応した同軸ケーブルや4K・8K対応のBS・110度CSアンテナなどの機器が必要です。

**取付方法**

- 図のように板壁または放熱処理を施した取付ボックスのパネル面に壁面取付金具を付属の木のネジ3本で取り付けます。はじめにプースターの上側中央の穴をあらかじめ取り付けたネジにかけてください。次に残りの木のネジ2本で下側を固定し、しっかりと取り付けてください。
- 上側のネジをしっかり固定してから、本製品が確実に固定されていることを確認します。
- 本製品を「台取納する取付ボックスは、(H)300mm×(W)200mm×(D)140mm以上の大きさで上下に通気孔のあるものを使用してください。



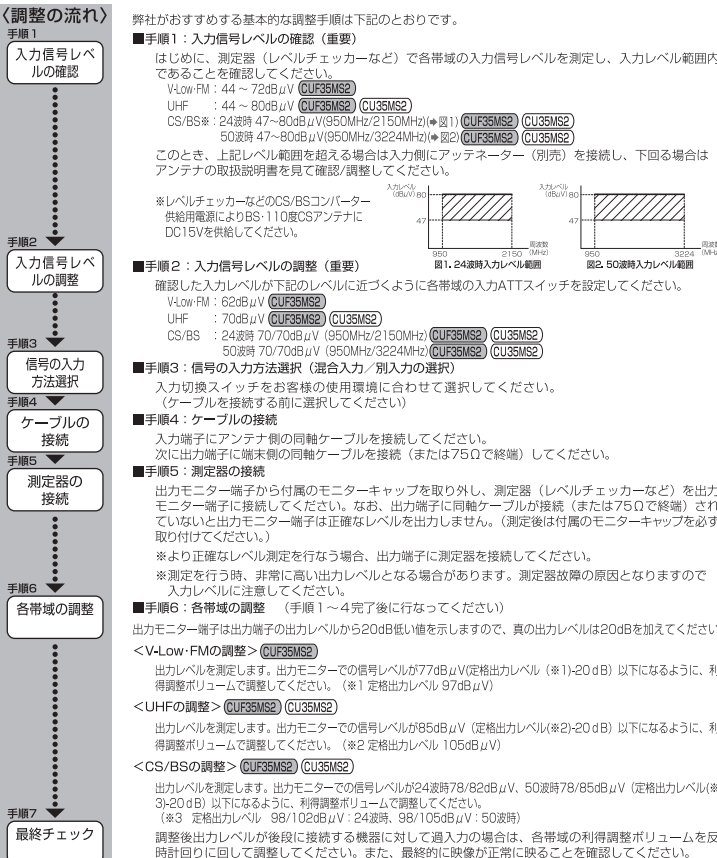
**接続への同軸ケーブルのつなぎ方** (例：S-5C-FBケーブル使用時) (単位: mm)



(ご注意)

- 4K・8K放送(3224MHz)に対応したS-5C-FB相当以上の同軸ケーブルを使用してください。
- 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線・編組に傷をつけないでください。断線の原因となります。
- 編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えなくなるだけでなく、電源部がショートして火災・爆発の原因となります。
- 接続を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がってはいけません。確認し、曲がらないように接続してください。
- 心線に白い膜が付いている場合は、接触不良の原因となりますので、必ずご使用前に剥いてください。
- 接続をご使用になるときは、接合の取扱説明書に従って取り付けてください。

**調整方法**



(参考) カスケード(多段)接続時の運用

カスケード(多段)接続する場合は、各プースターの出力レベルを右記のように設定してください。

2段の場合  
 V-Low-FM → UHF → CS/BS → 分配器へ  
 2台とも各帯域の出力レベルを定格出力から3dB引いた値にする